

会議録（会議結果概要）

名 称	第8回 各務原市総合計画審議会
開催日時	令和6年6月25日（火） 9：30～11：30
開催場所	各務原市役所 本庁舎 4階会議室4-3・4-4
出席者	北角浩一会長、富樫幸一副会長、柴崎建委員、平野華織委員、阿部雄介委員、井戸輝雄委員、可兒正則委員、近藤亜矢子委員、篠田勲委員、中野正勝委員、松浦知恵委員、森田宏委員、横山浩之委員、和智陽子委員、河合正嘉委員、山田昭仁委員、鵜飼明男委員、江口佑美委員、松井大輔委員、林佳廣委員、別宮理恵委員、吉田明弘委員 ※欠席者：酒井聡委員、福島茂委員、志津野茜委員
議題及び 審議・協 議結果等 の概要	次第 1 開会 2 議事 （1）次期総合計画前期基本計画素（素案）について （2）答申（案）について 3 その他 4 閉会
	1 開会 事務局より説明 【会長】 ・次期総合計画の前期基本計画の素案については、これまで審議会や市議会の特別委員会の意見を踏まえながら修正などが行われ作成されている。審議会における前期基本計画の検討は大詰めの段階であり、本日で最終回としたい。 2 議事 （1）次期総合計画前期基本計画（素案）について ≪事務局より説明≫ 資料1 各務原市総合計画前期基本計画（素案） 資料2 「各務原市総合計画前期基本計画（素案）」に係る修正案一覧 ≪質疑意見≫ 【会長】 ・事務局からの説明に意見などあれば願います。 ・これまで様々な意見が出され、審議会の意見を反映していただきながら、まとめられている。 ・審議会でも出された一つ一つの意見を市政運営の参考としていただけるよう、私から浅野市長へお伝えしたい。 ・審議会としてはこの素案について妥当であるという結論でまとめたいと考えているが、皆さんいかがか。よろしければ拍手をお願いします。 (拍手)

【委員】

- ・最重点プロジェクトの人口減少・少子化対策が全てに関わっていると書かれているが、どこがどのように関わってこの問題を解決する、という記載方法にならないか。
- ・もしくはここでこのような問題に関してプロジェクトを立ち上げるのであれば、この問題に対してどの組織、どのチームがどのように運営して解決していくか。やったことに対しての結果はどうだったか。前々回も優先順位がどうなっているかという話があったが、そのようなところにもっと切り込んで書いていただいた方が市民にとってはわかりやすい。本当に各務原市の解決しなければいけない問題は何かという観点で考えてほしい。
- ・少子化は全国どこの市町村でも、最優先で取り組んでいる事項になっていると思う。当然、他と比較されるし、そのような中において各務原市では、どのような解決方法で成果を出そうとしているのか。
- ・昨年、認知症基本法が新たに交付され1月1日から施行されている。国から県や市町村に具体的な施策を行う指示はないが、いずれ必ずある。この法律との関わりを総合計画の記述の中で整理してほしい。

【事務局】

- ・基本計画では、9つの基本目標と各施策をまとめて、それぞれに少子化対策、人口減少対策が関わってくるため、実施計画、事業を検討する際に、委員の意見のような、これまでやってきた取り組みだけではなく、切り込んだ事業を検討していく。

【委員】

- ・私は、今年度から始まった老人福祉計画、介護保険事業計画の策定に関わっており、現在は地域福祉計画、地域福祉活動計画、障がい者・障がい福祉計画に関わっている。総合計画で議論されたことや、市の方向性が明確に出てくることによって、個々の領域の計画の中で、整合性が合う形で検討していきたいと思っている。

【会長】

- ・事務局には、きちっと検討いただきたい。よろしいか。

【事務局】

- ・はい。

【会長】

- ・先ほど皆さんに拍手をいただいたが、改めて審議会としてこの素案について妥当であるという結論でまとめたいと考えている。よろしければ拍手をお願いします。

(拍手)

(2) 答申案について

≪会長より答申案説明≫
資料3 答申書(案)

【会長】

- ・6つの意見を付して、浅野市長へ答申したいがよろしいか。よろしければ拍手をお願いしたい。

(拍手)

【会長】

- ・ 本日の午後、私と副会長で浅野市長に答申する。
- ・ 審議会の議事はこれで全て終了する。
- ・ 本日、最終回となるので、順番に皆様から新しい総合計画のもとで、ご自身もしくは企業・団体などとして何ができるか、何を取り組みたいか、一言ずついただきたい。

【委員】

- ・ 今回の計画を全体的に見て、何とか維持をしながら各務原市を良くしていこう、ということがはっきり分かるので、とても良い計画だと思うし、個々の計画づくりや取り組みの中で、みんなで知恵を絞っていろいろな計画を作っていきたいと思う。

【委員】

- ・ 2年に渡って、この会議に参加させていただき、いろいろな方たちがそれぞれの立場で、このまちや子どもの環境を良くしようと尽力いただいていることが分かった。自分の所属する組織だけでは見えてこない、いろいろな問題や取り組み、皆様のご活躍などが知れたということが一番大きかった。
- ・ 子どもの数も少なくなっており、共働き世帯が増えてきて、親が子どもに関われる機会が昔より少なくなっている。昔のようにもう一度というのはなく、そのような時代の中でどう子育てをしていくか、活動していくかということが重要だということを、皆様の話を聞いて感じたため、私がやれる立場の中で、またこの総合計画に沿っていけるような活動をしていきたい。
- ・ 他の会議も含めていろいろ参加させていただいている中で、それぞれ自分が知らないところでいろいろな方たちが様々な活動をされていることが分かった。この審議会は今日で最後だが、違う場で構わないので、他の組織や団体の代表者が集まって話をするなど、一緒に何かをする機会を行政主導で行っていただければぜひ参加したい。

【委員】

- ・ 今回、素案が完成したわけだが、横断的に横串を刺すような形で、一つ一つの課題に取り組めていける良い計画になったと思う。そのため、各部署の職員の方も、そのような意識が統一され、一つの相談をするのに「それはうちの課ではない」と言われないような取り組みをしていただくとありがたいと市民として思う。
- ・ 人口減少や少子高齢化は大きな課題として出てくるが、その下に潜んでいる、人と人との繋がりの希薄化や、質の低下についても切り込んでいけると良いと思う。
- ・ 先日、教育センターの会議があり、教育センターの子どもの発達や問題に関する相談の件数は、子どもの発達障がい飛び抜けて多い。それは障がい児が増えたのではなく、親の子育て力の低下や、地域の方、周りの方が関わる質や量が低下してくることで、本来ならこの年齢でこのぐらいのことができて当たり前のことが、その年齢に身に付いていないという大きな問題が出てきているため、地域の繋がり、人と人との繋がり、そして親がどう責任を持って育てていくかということを教えていただいて、子どもに繋げていけるような未来が実現したら良いと思う。

【委員】

- ・自治会のみならず、地域コミュニティに対していろいろ勉強させていただいた。今まで感じ得なかったこともいろいろ勉強させていただいた。今後、何らかの行動の糧にしたいと思っている。

【委員】

- ・組織がそれぞれでなくて横断型、ここでは縦のプロジェクトという形で記載されている。ここまで書いたのであれば、どうやってその課題を解決するのかまで踏み込んでいただくと、変わるのではないかと。企業の場合、課題があったら、どうやってそれを解決するのが日常活動になる。
- ・観光の分野では、今後も催事に注力していくが、それとは違った切り口で、産業観光など、場合によっては各務原市の緑の豊かな各拠点を繋げる新しいボタニカルシティ各務原という、従来とは違う方向でやっていきたいと考えている。

【委員】

- ・今までの10年間の総合計画とは違って、更に10年後ということで、コロナ禍の後であり最近の経済情勢も踏まえて、思う通りにはならない10年の見通しになるのではと、不安はある。その中で、この理想の計画に近づきたい、みんなでこのような市にしていきたいという思いの表れた計画だと思う。ここに向けて各所が頑張っていくとともに、それぞれの団体が、子どもや大人が普段の生活を笑顔で過ごせるように目指していけば、きっとこの計画に近づいていくと思う。
- ・1人でも多くの市民を巻き込んでいくことが、この計画に少しでも近づいていく方法だと思うため、私自身もそれに巻き込まれていきたいと思う。ぜひ市の方には市民の方々に良い意味で巻き込んでいただきたい。

【委員】

- ・様々な部門の方の話を聞いて、非常に勉強になった。警察としては、各務原市から事故をなくす、犯罪をなくすということに注力をしていきたいと考えている。そのためには、市民の方の交通安全意識と防犯意識を高めることが大切になるため、皆さんと協力しながら、安全・安心なまちにするよう頑張っていきたい。

【委員】

- ・自分は母と訪問育児で保育士という面と、ワーキングホリデーでカナダに行ったこともあり、海外の方との繋がりから何かここへお届けすることができないかと思い、この会議に参加させていただいた。先日、市のまちづくり推進課に伺ったときに、自分たちの悩みを話したところ、真摯に解決してくださいました。そのことから、市からの情報を待つのではなく、自分たちも何か困っている方がいたときに市役所につなぐなど、行動することが大切だと感じた。自分ができることをこれからも発していきたい。

【委員】

- ・せっかくこの審議会に参加させていただいたので、他の自治体の総合計画や国の施策についても見ながら、この計画との対応を整理しようと見させていただいた。
- ・結果的には非常によくまとまっていると思う。答申としてはこれでも十分だと思うが、今後について3つ意見を言わせていただく。
- ・1つ目は横断的な視点で3つ挙げられている、これは良いことだと思うし、特に人口減少・少子高齢化を重点的にというところも良くまとまっていると

思うが、他の地方都市と比べて、各務原市としては具体的にどう解決するかといったことが、肝要だろうと思う。

- ・各務原市としてどう関与するか、どう対応するかといったところは実施計画で詰めていくので、実施計画が非常に重要だと思う。実施計画段階で、横断的なところも見ながら、市民のニーズや意見を取り入れてほしい。
- ・2つ目は、人口減少や少子高齢化の問題は、この10年を見据えると対応していかなければいけないことだが、高齢化は自然になくなるので、10年経つとかなり状況が変わってくる。
- ・従って、少子高齢化の先も見据えた戦略を加味しながら、実施計画の中で詰めていっていただきたい。
- ・3つ目は、実施計画の中で、人口減少を最重点プロジェクトとするということだが、特に重要だと思うテーマについては、市民も入れた、あるいは専門家も入れた、美濃加茂市が行っているような合意形成プロセスを参考にして取り組まれたらいいと思う。

【委員】

- ・これで最初の基本計画ができたが、最後に伝えたいのは実現可能性である。これがどこまでできるか、100%ではないかもしれないが、30%では困る。市民に結果として何か変わっている実感がないと意味がない。
- ・重要プロジェクトの部分に当たる人口減少、デジタル化、SDGs 推進、この横串がプロジェクトの基本になると思うため、このプロジェクト自体、いつ発足して、どういう部や課が参加してやるのかは、おそらく今後市民の方々に、この計画を見せるにあたって同時に示さないといけない。
- ・具体性はすべて示す必要はないが、少なくとも我々はこの柱でスタートすることは見せる必要がある。縦割りではないというところ、プロジェクトチームはこれだけいて、このチームがこれから走り出すというところを見せてほしい。
- ・PDCAサイクルの中で仮説の検証が一番大事である。仮説を立てる時間が一番長くなる。
- ・計画の進捗を検証した結果は市民に開示してほしい。そうすることによって、計画がどこまで進んでいるかが見えて、市民の協力も得やすくなる。

【委員】

- ・今回の計画について私が一番感じたのは、題目にあるオール各務原、ここに尽きる。
- ・振り込み詐欺がどれだけ対策を練ってもなくなる。これは金融機関だけでは対応できない。店頭での水際阻止などの試みは行っているが、警察庁始め、各種団体の啓蒙活動があり、様々な方々と全員オールになって、犯罪撲滅を目指している。この形が大切である。
- ・計画は、実現可能性をしっかりと訴求していく必要があると感じている。そのためのPDCAであって、OODAループのような仕組みがあることで、これを形骸化することなく、この意識をしっかりと持ってやっていけたら、間違いなく前に進んでいくと感じた。

【委員】

- ・次期総合計画に他市から各務原市に来て働いている人、各務原市で働いて住んでいる人、そういった人たちの声を審議会を通して反映させていただいたことが、大きな成果である。

【委員】

- ・総合計画の実現に向けて、主役が市民の皆さんになるため、行政側、企業側

は、いかにそれを盛り上げるか、イベントを企画して実行できるか、今後しっかりと考えながら実現に向けて協力させていただきたい。

【委員】

- ・ 審議会を重ねるごとにわかりやすくなった、内容が充実してきたと感じた。表現を見直していただいたり、専門用語の解説を入れていただいたり、わかりやすくなった。良い計画ができたと思う。
- ・ 農政という観点から、農業はいろんなセクションが幅広く関係する。そのため、縦割りではなく、横の連携をとりながら、一つの施策ではなく様々な施策を絡み合わせながら、目標や計画を実現していただけるようお願いする。

【委員】

- ・ スポーツ離れの子どもたちが増えている。将来は子どもたちに少しでもスポーツに関わってもらうため、スポーツ界が先頭を切らなければならない。縦割り社会という言葉が数多く出ているが、そのような状況の中でも、行政内の連携を取っていただき、私たちと一緒にスポーツ業界を盛り上げてほしい。

【委員】

- ・ 総合計画は基本となるべきものなので、職員が協力して目指すべきことをやらなければ、何のために作ったのかとってしまう。市役所は大きな組織であるため、横断的に全職員の方に伝えていただくことが重要である。外に対しての情報発信も必要だが、中に対してもどう生かすかが、計画づくりの難しきであると感じている。
- ・ 人口減少・少子化対策を念頭に置いて、どのように物事を具体化していくか。限られた職員の人数で、やれることは限られている。施策を進める中で、この部署ではできないが力を借りたらできる、などの事象が潜在していると感じたため、審議会の委員の皆様とともに、行政だけではできないが他の方々の力を借りてならできると進めていきたい。

【委員】

- ・ 基本計画の中で高齢者についての取り扱いは多い。人口の3分の1が高齢者である。60歳以上で見ればもっと多い。これから益々の少子高齢化に対する課題については、日本全体が共通していると思う。シニアの自己の健康管理について考えながら生活していきたいと思う。

【委員】

- ・ 地域によって、高齢化しているところが集中している。総論では、この計画は素晴らしい出来上がりだと思っているが、地域によって対応をどのようにしていくか少し考えていただきたい。
- ・ うちの町内もシニアクラブが無くなり役員のなり手がいないという現状で、実際には人がいるが、なり手がいない。どういった原因があるのか、これから早急に検討しながら、元気な各務原市、元気なまちづくりは、高齢化した私達の力がまだまだいるのではないかとと思っている。

【委員】

- ・ 総合計画は、様々な方が見られるので、見やすく、わかりやすく、優しいものにしていただきたい。
- ・ コロナ禍から希薄化が進んでいると思う。問題になっている少子高齢化の中で、これから各務原市は、計画に沿ってしっかりとした施策を作って進めて

ほしい。

- ・市を盛り上げていくということでは、文化を通して、楽しい社会で暮らしていただきたいと思っている。文化を通して、この計画に基づいた活動をしていきたい。

【委員】

- ・日本を取り巻くグローバリズムの大きなうねりの中で、地方は本当に多様な課題を抱えていると、審議会を通して考えさせられた。
- ・その中でも、本当に良い計画が出来上がったため、どう実体化していくかを考えていきたい。

【副会長】

- ・人口の減少と高齢化・少子化について、消滅可能性自治体の新しいレポートが出ていたが、状況は益々悪くなっている。
- ・出生率が上がってこないのが、高齢化が進む一方である。ただその中でも、自治体によっては人口を維持しているところもある。
- ・子育てや教育に力を入れているところは人口を何とか保っている。
- ・工場がある、基地がある、住宅団地がある各務原市だったところが、今回の計画の目標で、暮らしやすい、人が集まる地域に今ちょうど変わりつつある。
- ・皆さんからも様々な提案をいただきたい。分野や地域で分かれずお互いに協力し合って、一緒にやっということが進んでいくと、この計画が計画で終わらず、よい動きになっていくと思っている。

【会長】

- ・非常に良い計画ができてよかったと思う。
これを実行する上で、最初に書かれている、人口減少、デジタル化、SDGs に関して、物事の本質をきちっと理解した上で、前に進めていただければ良いと思っている。10年後を楽しみにしている。
- ・産業は、農業もそうだが、生活を支える根底にある部分だと思う。今、変化が激しい時期で、各企業、物価高や人手不足というところで、生き残りをかけて頑張っている。こういったところも含めて、市全体を支えられるよう各企業が頑張っていくため、行政にも協力をお願いしたい。

3 その他

【事務局】

- ・本日の午後に答申が行われる。その後、7月12日から31日までパブリックコメントを行い、最終的に市で基本計画の案を取りまとめ、9月の議会の議案として上程する。
- ・その後、デザインの作業を行い、今年度中に冊子が完成する予定である。

4 閉会

【会長】

- ・以上をもって、市長から諮問を受けた事項について、各務原市総合計画審議会としての役目を終了する。
- ・事務局におかれても、今後のパブリックコメントなどで、丁寧な対応に努めていただくようお願いする。

【事務局】

- ・本日審議会が最終回となるので、副市長の今道より挨拶を申し上げる。

	<p>【副市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆様におかれましては、1年3か月の非常に長い期間にわたり、貴重な意見、審議を賜り、心から御礼を申し上げます。 ・ここにお集まりの皆様は市内の各分野を代表される方々で、様々な立場から様々な意見を忌憚なくいただき、この総合計画の案が洗練された素晴らしいものになったと自負をしている。 ・一方で、基本計画としては非常に良いものができたと自負しているが、本日、多くの皆様からこの基本計画で目指すべき目標や課題は見てきたが、それを解決するための具体的な手法が見えないと指摘があった。 ・基本計画という性格上、具体的な手法まで書き込むことに限界があるため、今後の実施計画、予算、個別事業の策定過程において、市民の皆様の意見を取り入れながら、具体的な手法が見えるように努めてまいりたい。 ・今日の議論の中で縦割りになっているという指摘も多々いただいた。どこの部署にも属していない市長や、副市長の私が、各部の利益にとらわれず、横串で刺していく、このような取り組みが重要になってくるため、ここは改めて本日の議論を聞いて、決意を新たにしたい。 ・引き続き皆様の理解と協力を賜り、しっかりと良い10年20年にしていきたいと思います。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上をもち第8回各務原市総合計画審議会を終了する。
資料	<p>資料1 各務原市総合計画前期基本計画（素案） 資料2 「各務原市総合計画前期基本計画（素案）」に係る修正案一覧 資料3 答申書（案） 資料4 各務原市総合計画審議会委員名簿</p>
備考	